

## 神戸市摩耶山における 2025 年度のアサギマダラの移動調査の結果

宮武頼夫<sup>1)</sup>・一井弘行<sup>2)</sup>・徳増実事<sup>2)</sup>

### はじめに

摩耶山天上寺は、神戸市灘区摩耶山町 2-12 にあり (標高 715m)、大化 2 年 (646 年) にインドの高僧法道仙人により創設されたと言われる古刹で、神仏霊場兵庫第四番に指定されている。関西花の寺第 10 番霊場にも指定されているだけあって、境内や周辺に各種の花が植えられており、コバノフジバカマも各所にパッチ状に植えられていて、秋のアサギマダラ *Parantica nipponica* の南下シーズンには、多くの個体が見られる格好のマーキングポイントとなっている。

2025 年 10 月 9 日 (木)、午前 10 時から午後 2 時 20 分の間、我々は天上寺下周辺のコバノフジバカマ園 (標高 690m) でアサギマダラの移動調査を行った (図 1)。当日は、アサギマダラは一昨年に比べるとやや少なく (昨年に行っていない)、一カ所でマークしていると、マーク個体ばかりになるという状態だった (図 2, 図 3)。我々が当日マークしたのは以下の通りで、総数は 324 個体 (一昨年は 490 個体) であった。当日の天候は晴で、気温はおおむね 21℃から 25℃を推移し、時々風があった。

一井弘行 HCH1 -HCH103 MY 10.9

99 ♂ 4 ♀ (交尾不明)

徳増実事 TKM1 -TKM160 MY 10.9

155 ♂ 5 ♀ (すべて交尾済み)



図 1. マーキング風景 (一井撮影).

宮武頼夫 YMK1 -YMK61 MY 10.9

60 ♂ 1 ♀ (交尾済み)

**摩耶山**: 神戸市灘区摩耶山町天上寺下のコバノフジバカマ園

標高 690m N34° 44' 20" E135° 12' 16"

asagi の ML で再捕獲情報や移動情報を寄せてくださった方々には、厚くお礼を申し上げます。

### 他地からの再捕獲の記録 (他地からの移動記録)

#### 1. 標識: TGV 8.5 OSM 278 (図 4)

標識日: 2025 年 8 月 5 日 12:05 晴 28℃

標識地: 群馬県嬬恋村棧敷林道 36.435034N, 138.427607E  
(標高 1650m)

性別・鮮度・前翅長: ♂・N・49 mm

訪花植物: 自生のヨツバヒヨドリ

標識者: 大島康紀

↓南西方向へ 347.12 km 移動 65 日間

再捕獲日: 2025 年 10 月 9 日 14:13

再捕獲地: **摩耶山**

性別・鮮度: ♂・O 破損あり

再捕獲者: 徳増実事

報告者: 宮武頼夫

備考: コバノフジバカマ訪花. 追記「TKM 155 MY 10.9」. 写真あり



図 2. 多くのアサギマダラが集まるポイント (徳増撮影).



図 3. 標識された個体 (徳増撮影).

<sup>1)</sup> Yorio MIYATAKE アサギマダラの会; <sup>2)</sup> Hiroyuki ICHII・Makoto TOKUMASU トンボ研究会

\*夏の高原に調査に入り初日の個体。標識地でも28℃, 移動日数が長いのは逗留期間が長かったと思われる。

### 他地での再捕獲の記録 (他地への移動記録)

#### 1. 標識: HCH76 MY 10.9 (図5)

標識日: 2025年10月9日 12:17 晴 23.0℃

標識地: 摩耶山

性別・鮮度・前翅長: ♂・M 破損なし・52mm

標識者: 一井弘行

報告者: 宮武頼夫

備考: コバノフジバカマ訪花

↓南南西へ約147km移動 25日間

撮影日: 2025年11月3日

撮影地: 徳島県海部郡海陽町鱒瀬 N33°38'54" E134°23'19"

性別: ♂

撮影者: 有田忠弘

報告者: 大原賢二

備考: 撮影のみ, 追記せず

#### 2. 標識: TKM 50 MY 10.9

標識日: 2025年10月9日 11:01 晴 23℃

標識地: 摩耶山

性別・鮮度・前翅長: ♂・O 破損あり・56mm

標識者: 徳増実事

報告者: 宮武頼夫

備考: コバノフジバカマ訪花

↓南西方向へ約40km移動 4日間

撮影日: 2025年10月13日 13:30~14:30 晴 約26℃

撮影場所: 兵庫県南あわじ市灘黒岩 論鶴羽神社 フジバカマ園 34.2305N, 134.8152E (標高510m)

性別: ♂

撮影者: 木下智晴

備考: フジバカマ訪花, 追記なし。

#### 3. 標識: TKM 88 MY 10.9

標識日: 2025年10月9日 12:06 晴 22℃

標識地: 摩耶山

性別・鮮度・前翅長: ♂・M 破損なし・56mm

標識者: 徳増実事

報告者: 宮武頼夫

備考: コバノフジバカマ訪花

↓南南西へ約105km移動 15日間

再捕獲日: 2025年10月24日 15:30

再捕獲地: 徳島県阿南市椿町須屋奥 牧場東 N33°48'47" E134°40'52"

性別: ♂

再捕獲者: 米山喜義

報告者: 大原賢二

備考: 追記「トクスヤ 10.24 kys 114」

#### 4. 標識: TKM 102 MY 10.9 (図6)

標識日: 2025年10月9日 12:24 晴 25.5℃

標識地: 摩耶山

性別・鮮度・前翅長: ♂・M 破損あり・56mm

標識者: 徳増実事

報告者: 宮武頼夫

備考: コバノフジバカマ訪花

↓北東へ約71km移動 15日間

再捕獲日: 2025年10月24日 10:47 曇 18℃ 北西の風

再捕獲地: 京都市左京区大原勝林院町 N35°7'18" E135°49'47" (標高228m)

性別・鮮度: ♂・M

再捕獲者: 小松清弘

報告者: 藤野適宏

備考: 植栽コバノフジバカマに飛来, 追記「KK-400H10/24」  
画像有

#### 5. 標識: TKM 114 MY 10.9

標識日: 2025年10月9日 12:50 晴 25.5℃

標識地: 摩耶山



図4. TGV 8.5 OSM278 (群馬県から, 徳増撮影).



図5. HCH76 (徳島県へ, 有田撮影).

性別・鮮度・前翅長：♂・O 破損あり・50mm  
標識者：徳増実事  
報告者：宮武頼夫  
備考：コバノフジバカマ訪花

↓東北東方向へ約 15km 移動 5日間

再捕獲日：2025年10月14日 14:37  
再捕獲地：兵庫県宝塚市南口2丁目(武庫川右岸沿い) N34°  
48' 15.94" E135° 21' 03.26" (標高 30m)  
性別・前翅長：♂・50mm  
再捕獲者：渡辺康之  
備考：スレと色あせがある個体。ミズヒマワリ群落に飛来。  
追記「YWA 884 M 10.14」

6. 標識：TKM 157 MY 10.9 (図7)

標識日時：2025年10月9日 14:16 晴 22.3℃  
標識地：摩耶山  
性別・鮮度・前翅長：♂・M 破損なし・59mm  
標識者：徳増実事  
報告者：宮武頼夫  
備考：コバノフジバカマ訪花

↓南南西へ約 870km 移動 28日間

再捕獲日時：2025年11月6日 14:11  
再捕獲場所：鹿児島県大島郡喜界町 滝川林道 N28° 18'  
43.92" E129° 58' 21.10"  
性別・鮮度：♂・M

再捕獲者：福島誠  
備考：シロノセンダングサ訪花, 追記「キカイ MF 183 11/6 T」.  
画像あり

7. 標識：YMK 7 MY 10.9 (図8)

標識日時：2025年10月9日 10:20 晴 23.5℃  
標識地：摩耶山  
性別・鮮度：♂・M 破損なし  
標識者：宮武頼夫  
備考：コバノフジバカマ訪花

↓南南西へ 190km 移動 41日間

再捕獲日時：2025年11月21日 14:15 晴 18℃  
再捕獲地：高知県室戸市室戸岬町室戸スカイライン N33°  
16' 03" E134° 10' 43"  
性別・鮮度：♂・O  
再捕獲者：藤野適宏  
備考：ツツブキ群落に飛来。追記「MA601 ムロト 11.21」.  
画像有

8. 標識：YMK 16 MY 10.9 (図9)

標識日時：2025年10月9日 10:42 晴 23.5℃  
標識地：摩耶山  
性別・鮮度：♂・N 破損なし  
標識者：宮武頼夫  
備考：コバノフジバカマ訪花



図6. TKM 102 (京都市へ, 藤野撮影).



図7. TKM 157(喜界島へ, 福島撮影).



図8. YMK 7 (室戸岬へ, 藤野撮影).



図9. YMK 16 (淡路島へ, Bando 撮影).

↓南西へ約 70km (不定) 移動 16 日間

再撮影日時: 2025 年 10 月 25 日 10:51

再撮影地: 淡路島

再撮影者: Hideaki Bando

報告者: 松田元気

備考: 写真からコバノフジバカマで吸蜜中と思われる.



図 10. カマキリに捕食されたアサギマダラ (徳増撮影).

### カマキリによる捕食の観察

徳増は午前 11 時 42 分ころ, コバノフジバカマの花の直下で, 1 頭のアサギマダラを捕まえているカマキリを見つけた (図 10). カマキリの種名ははっきりとは分からなかったが, あまり大きくはなかったので, ヒメカマキリだったのではないと思われる. 写真を撮ろうと近づくと, カマキリは一旦アサギマダラを放したが, アサギマダラは動くことがなかったので, 既に死亡している状態だったのではないと思われる. カマキリの捕食の初期の段階であったと思われるが, その後の推移は観察していない.

### 考察

例年と比べると, 他地からの移動個体の再捕獲数が非常に少なく, わずか 1 例のみであった. 全国的にまだ南下移動が始まったばかりだったのかもしれない. 他地への移動はそこそこあったが, マーキング後に北東と東北東方向へそれぞれ 1 頭ずつ移動した例があった. 高温が続いた事が影響したと推定される.

### 参考文献

- 宮武頼夫・一井弘行・徳増実事, 2021. 神戸市摩耶山における 2020 年度のアサギマダラ標識個体の移動結果. きべりはむし, 44 (1): 58 - 61.
- 宮武頼夫・一井弘行・徳増実事, 2022. 神戸市摩耶山における 2021 年度のアサギマダラ標識個体の移動結果. きべりはむし, 45 (2): 26 - 33.
- 宮武頼夫・一井弘行・徳増実事, 2023. 神戸市摩耶山における 2022 年度のアサギマダラ標識個体の移動結果. きべりはむし, 46 (1): 28 - 33.
- 宮武頼夫・一井弘行・徳増実事, 2024. 神戸市摩耶山における 2023 年度のアサギマダラ標識個体の移動結果. きべりはむし, 47 (2): 61 - 65.